正しいことが奇妙になり、誤りが当たり前になるとき

逆さまの時代に向き合うための洞窟章の導き



HJ CHE ALIM HJ CHE HARON
quranscience.my

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

正しいことが奇妙になり、誤りが当たり前になるとき

逆さまの時代に向き合うための洞窟章の導き

نَّحْنُ نَقُصُّ عَلَيْكَ نَبَأَهُم بِٱلْحَقِّ ۚ إِنَّهُمْ فِتْيَةٌ ءَامَنُوا۟ بِرَبِّهِمْ وَزِدْنَٰهُمْ هُدًى

「われはかれらの物語の真実をあなたに語ろう。かれらは主を信じる青年であったから、われはなお一層かれらを導いた。」

洞窟章 18:13

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

©2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売はできません。

謝辞

すべての称賛は、少しの歪みもないまっすぐな啓典を下されたアッラーに。「異邦人」としてその呼びかけを始め、アル＝グラバーゥ（異邦人たち）に吉報を告げられたアッラーの使徒ﷺの上に、祝福と平安あれ。

この電子書籍を、愛する妻

ZAHARAH MOHD LATIF、

愛する子どもたち

MUHAMMAD HAFIZ, NOOR HAZWANI, ABDUL HAKIM, NOOR HIDAYAH, NOR AQILA と **NOR ATIQAH**、

そして義理の息子・娘たち

FAZILAH, MALEK, HANIN, FAIRIZAL と **FIRWAN** に捧げます。

アッラーが洞窟の若者たちの心を強められたように、私たちすべての心を強めてくださいますように ― ワ・ラバトナー・アラー・クルービヒム。

表紙について

本書の表紙は、星の散りばめられた濃紺の夜空の下の谷を描いている。空には三日月がかかり、闇の向こうにイスラームの幾何学的な星の文様がかすかに見える。時代が暗くなっても、真理の秤は整然と保たれていることの象徴である。中央には岩山がそびえ、その中から金色の光を放つ**洞窟**がある。信仰を守るために洞窟の若者たちが身を寄せた洞窟を思い起こさせる。「それで洞窟に避難しなさい。あなたがたの主は、あなたがたに慈悲を広げられる」（洞窟章 18:16）。

山の前には、何千もの灰色の花で埋め尽くされた野が広がり、そのすべてが**下を向いてうなだれている**。これは**誤りが当たり前になること**、そして「ひっくり返った器のように」なった心（『サヒーフ・ムスリム』第 144 番）の象徴である。その野の中央に、**一輪の白い花がまっすぐに立ち、輝いている**。ほかと違う唯一の花である。これは**正しいことが奇妙になること**、そしてアッラーの使徒 ﷺ の吉報「異邦人たちに祝福あれ」（『サヒーフ・ムスリム』第 145 番）の象徴である。洞窟の入口からは金色の小道がその白い花へとまっすぐに続いている。洞窟章の光が、真理の上に堅く立つ者の備えと盾となることのしるしである（『サヒーフ・ムスリム』第 809 番）。

下部では、静かな湖面が景色全体を**逆さまに**映している。山も、洞窟も、花の野も、白い花も、三日月も、すべてが反転している。これは**逆さまの時代**の象徴であり、嘘つきが信じられ、正直な者が嘘つき扱いされる時代（『スナン・イブン・マージャ』第 4036 番）、そして「その火は楽園であり、その楽園は火である」というダッジャールの試練（『サヒーフ・ムスリム』第 2934 番）の象徴である。その映像は美しく見えるが、反転した影にすぎず、真実ではない。

目次

正しいことが奇妙になり、誤りが当たり前になるとき — 高壁章 7:82、創造者章 35:8

1. アル＝グラバーゥ ― 真理が異邦のものとなるとき — ムスリム 145、ティルミズィー 2260、洞窟章 18:13〜16

2. 誤りはどのように当たり前になるのか — ムスリム 144、ブハーリー3483、洞窟章 18:103〜104、家畜章 6:116、食卓章 5:100

3. 逆さまの時代 ― 嘘つきが信じられ、正直な者が嘘つきとされる — イブン・マージャ 4036、ムスリム 2934、洞窟章 18:82

4. 真理の上に堅く立つ ― 洞窟章という備え — ムスリム 809、ムスリム 49、アブー・ダーウード 4338、洞窟章 18:1〜10、18:28

参考文献

支援と寄付

色の案内：緑の枠＝クルアーンの節、金色の枠＝ハディース、青い枠＝科学的知見、灰色の枠＝アサル（教友の言葉）／学者の言葉。青い下線付きの伝承者名をクリックすると、sunnah.com のその伝承者のページが開きます。

正しいことが奇妙になり、誤りが当たり前になるとき

逆さまの時代に向き合うための洞窟章の導き

正しいことをして、居心地の悪さを感じたことはないだろうか。賄賂を断れば「商売が分かっていない」と言われる。アウラ（体の覆うべき部分）を覆えば「時代遅れ」と言われる。職場で礼拝を守れば「信心深すぎる」と言われる。利息（リバー）を拒めば「経済が分かっていない」と言われる。その一方で、陰口は娯楽となり、嘘は戦略となり、SNSで人の恥をさらすことは話題のコンテンツとなり、礼拝を怠ることはもはや誰からも注意されないことになっている。

これこそが本書の題名となっている現象である。**正しいことが奇妙になり、誤りが当たり前になる。**それは新しいことではない。クルアーンは、預言者ルート عَلَيْهِ السَّلَامُ の民が、それ以前のどの民も犯したことのない醜行を犯しながら、それを少しも恥じなかったことを記録している。それどころか彼らは、身を清く保つ者たちを**追放しよう**としたのである。

高壁章 7:82

وَمَا كَانَ جَوَابَ قَوْمِهِۦٓ إِلَّآ أَن قَالُوٓاْ أَخْرِجُوهُم مِّن قَرْيَتِكُمْۖ إِنَّهُمْ أُنَاسٌ يَتَطَهَّرُونَ ﴿٨٢﴾

かれの民は、只（互いに）こう言うだけであった。「かれらを、あなたがたの村から追い出せ。かれらは本当に清純ぶった人たちである。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/7:82

預言者ルート عَلَيْهِ السَّلَامُ とその信奉者たちに向けられた「罪状」に注目してほしい。インナフム・ウナースン・ヤタタッハルーン —「かれらは身を清く保とうとする人々である。」清さが犯罪となってしまったのである。**イマーム・イブン・カスィ**

ールは**カターダ**の言葉を引用している。「アッラーにかけて、彼らは何の欠点もないのに彼らを非難したのだ。」彼らは預言者ルート عَلَيْهِ السَّلَامُ を何の悪事でも非難できなかったので、その善良さそのものを追放の理由にしたのである。タフスィール・イブン・カスィール 7:82

人はどうして悪を善と見るところまで至ってしまうのだろうか。クルアーンはその原因を説明している。悪が**飾り立てられ**、その人の目に美しく見えるようになるのである。

創造者章 35:8

أَفَمَن زُيِّنَ لَهُۥ سُوٓءُ عَمَلِهِۦ فَرَءَاهُ حَسَنًا ۖ فَإِنَّ ٱللَّهَ يُضِلُّ مَن يَشَآءُ وَيَهْدِى
مَن يَشَآءُ ۖ فَلَا تَذْهَبْ نَفْسُكَ عَلَيْهِمْ حَسَرَٰتٍ ۚ إِنَّ ٱللَّهَ عَلِيمٌۢ بِمَا يَصْنَعُونَ

۸

自分の悪行を立派であるとし、それを善事と見る者（ほど迷った者）があろうか。本当にアッラーは、御望みの者を迷わせ、また御望みの者を導かれる。だからかれらのために嘆いて、あなたの身を損なってはならない。アッラーはかれらのなすことを知り尽される。

日本語訳：三田了一 — quran.com/35:8

イマーム・イブン・カスィールは、この節が、悪い行いをしながら自分は善いことをしていると信じ込んでいる不信仰者や放埒な者たちを指していると説明する。このような者は、真理を真理と見、虚偽を虚偽と見る者と同じではない。タフスィール・イブン・カスィール 35:8

アッラーの使徒 ﷺ は、このウンマがそのような時代を通ることを告げておられた。そしてその時代に真理を堅く守る者たちを**アル＝グラバーゥ**、すなわち異邦人たちと呼ばれた。また、楽園と火獄を逆さまにする終末最大の試練、ダッジャールの試練に向き合うための特別な備えも教えてくださった。**洞窟章の最初の十節を暗記すること**である（『サヒーフ・ムスリム』第 809 番）。だからこそ洞窟章が本書の軸となっている。そこには、社会全体がシルクに沈む中で信仰を守り抜いた若者たちの物語がある。

本書は四つの小題に分かれている。

(1) アル＝グラバーゥ — 真理が異邦のものとなるとき、

(2) 誤りはどのように当たり前になるのか、

(3) 逆さまの時代 — 嘘つきが信じられ、楽園と火獄を逆さまにするダッジャール、そして

(4) 洞窟章という備えによって真理の上に堅く立つこと。

注：本書の科学的知見は、クルアーンの真実を「証明」するためではなく、調和の証しとして紹介している。啓示の真実はそれ自体で立っており、科学は暫定的なもので常に見直されている。クルアーンの日本語訳は三田了一訳『日亜対訳 聖クルアーン』による。ハディースと本文の日本語訳は著者側で作成したものである。

1. アル＝グラバーゥ ― 真理が異邦のものとなるとき

アッラーの使徒 ﷺ がマッカで初めてタウヒード（唯一神信仰）を呼びかけたとき、彼とその信奉者たちはまさに「異邦人」であった。唯一なるアッラーを崇拝すること、娘を大切にすること、奴隷に権利を与えること、利息を捨てることへの呼びかけは、奇妙で、狂っていて、社会を分裂させるものと見なされた。アッラーの使徒 ﷺ は、その状態が再び訪れることを告げられた。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 145 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَبَّادٍ، وَابْنُ أَبِي عُمَرَ، جَمِيعًا عَنْ مَرْوَانَ الْفَزَارِيِّ، قَالَ ابْنُ عَبَّادٍ حَدَّثَنَا مَرْوَانُ، عَنْ يَزِيدَ، - يَعْنِي ابْنَ كَيْسَانَ - عَنْ أَبِي حَازِمٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " بَدَأَ الإِسْلاَمُ غَرِيبًا وَسَيَعُودُ كَمَا بَدَأَ غَرِيبًا فَطُوبَى لِلْغُرَبَاءِ " .

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「イスラームは異邦のもの（ガリーブ）として始まり、始まったときのように再び異邦のものとなる。だから異邦人たち（アル＝グラバーゥ）に祝福あれ。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ムハンマド・イブン・アッバード と イブン・アビー・ウマル ← マルワーン・イブン・ムアーウィヤ・ファザーリー ← ヤズィード・イブン・カイサーン ← アブー・ハーズィム・アシュジャイー ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』信仰の書（キターブ・ル＝イーマーン）、イスラームは異邦のものとして始まり、再び異邦のものとなるの章、ハディース第 145 番。

判定： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:145

学者たちの解説

イマーム・ナワウィーは『サヒーフ・ムスリム』の注釈の中で、イスラームは少数の人々から始まり、やがて広まって勝利し、その後再び減少して欠けていき、始ま

りのときのように少数の人々のもとにしか残らなくなると説明している。トゥーバーという語を、学者たちは喜びと目の涼しさと説明し、楽園の一本の木と説明する者もいる。

イマーム・イブン・ラジャブ・ハンバリーは、このハディースについて『カシュフ・ル＝クルバ・フィー・ワスフ・ハール・アフル・ル＝グルバ』という専門の論考を著した。彼は、終末における信者の異邦性は、場所の上で孤立するからではなく、**人々がスンナを捨てるときに彼らがそれを堅く守り**、人々が堕落するときに自らを正すからだと説明している。『サヒーフ・ムスリム』以外の伝承では、アル＝グラバーゥは多くの悪い人々の中にいる正しい人々と描写されている。

要するに、「異邦人」であることは恥ではない。それは**しるし**なのである。イスラームの始まりにアッラーの使徒 ﷺ と教友たちが守っていたものを、その人がなお守っていることのしるしである。しかしアッラーの使徒 ﷺ は、その状態がどれほど重いものであるかを隠されなかった。

ハディース—『ジャーミウ・ティルミズィー』第 2260 番

حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ بْنُ مُوسَى الْفَزَارِيُّ ابْنُ بِنْتِ السُّدِّيِّ الْكُوفِيُّ، حَدَّثَنَا عُمَرُ بْنُ شَاكِرٍ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " يَأْتِي عَلَى النَّاسِ زَمَانٌ الصَّابِرُ فِيهِمْ عَلَى دِينِهِ كَالْقَابِضِ عَلَى الْجَمْرِ " . قَالَ أَبُو عِيسَى هَذَا حَدِيثٌ غَرِيبٌ مِنْ هَذَا الْوَجْهِ . وَعُمَرُ بْنُ شَاكِرٍ شَيْخٌ بَصْرِيٌّ قَدْ رَوَى عَنْهُ غَيْرُ وَاحِدٍ مِنْ أَهْلِ الْعِلْمِ .

日本語訳：

アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人々に、自分の宗教の上に忍耐する者が、燃えさかる炭火を握る者のようである時代が来る。」

アブー・イーサー（ティルミズィー）は言った。このハディースはこの伝承経路ではガリーブである。ウマル・イブン・シャーキルはバスラの長老であり、複数の学者が彼から伝えている。

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：イスマーイール・イブン・ムーサー・ファザーリー（スッディーの孫） ← ウマル・イブン・シャーキル ← アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『ジャーミウ・ティルミズィー』試練の章（アブワーブ・ル＝フィタン）、ハディース第 2260 番。

判定： サヒーフ（リ・ガイリヒ） — 他の伝承経路に支えられるため、シャイフ・アフマド・シャーキルとシャイフ・アルバーニー（『スィルスィラ・サヒーハ』）が真正と判定。ダール・ッ＝サラームはハサンと判定（sunnah.com に表示）。正直な注記：ティルミズィーはこれをガリーブとし、伝承者ウマル・イブン・シャーキルは一部の学者に弱いとされている。しかしその意味は他の真正なハディースによって支えられている。

ソース：https://sunnah.com/tirmidhi:2260

「燃えさかる炭火を握る」というたとえは実に的確である。ハディースの注釈者たちは、炭火を握る者は焼けずに握り続けることはできず、手を放せば握っていたものを失うと説明する。試練の時代に宗教を守る者も同じである。その忍耐は痛みを伴うが、手放すことは宗教を失うことを意味する。**イマーム・ムバーラクフーリー**は『トゥフファト・ル＝アフワズィー』の中で、それは助ける者が少なく、堕落が多いからだと説明している。

洞窟の若者たちという手本

洞窟章は、暴君の王のもとで偶像を崇拝する社会に生きていた若者たちの物語から始まる。彼らは自分たちの時代のグラバーゥ（異邦人）であった。

洞窟章 18:13–16

نَّحْنُ نَقُصُّ عَلَيْكَ نَبَأَهُم بِٱلْحَقِّ ۚ إِنَّهُمْ فِتْيَةٌ ءَامَنُوا۟ بِرَبِّهِمْ وَزِدْنَٰهُمْ هُدًى ﴿١٣﴾

われはかれらの物語の真実をあなたに語ろう。かれらは主を信じる青年であったから、われはなお一層かれらを導いた。

وَرَبَطْنَا عَلَىٰ قُلُوبِهِمْ إِذْ قَامُوا۟ فَقَالُوا۟ رَبُّنَا رَبُّ ٱلسَّمَٰوَٰتِ وَٱلْأَرْضِ لَن نَّدْعُوَا۟
مِن دُونِهِۦٓ إِلَٰهًا ۖ لَّقَدْ قُلْنَآ إِذًا شَطَطًا ﴿١٤﴾

われはかれらの心を引き立て、かれらは起き上った時言った。「わたしたちの主は、天と地の主である。わたしたちは、かれを差し置いて如何なる神にも祈らない。（もしそうしたら）本当に無法なことを口にすることになる。

هَٰٓؤُلَآءِ قَوْمُنَا ٱتَّخَذُوا۟ مِن دُونِهِۦٓ ءَالِهَةً ۖ لَّوْلَا يَأْتُونَ عَلَيْهِم بِسُلْطَٰنٍۭ بَيِّنٍ ۖ فَمَنْ
أَظْلَمُ مِمَّنِ ٱفْتَرَىٰ عَلَى ٱللَّهِ كَذِبًا ﴿١٥﴾

これらわが同族の人びとは、かれを差し置いて神々を立てた。どうしてそれら（神々）は、かれらに対して一つの明白な権威も齎さないのであろうか。アッラーに就いて偽りを捏造するよりも、甚だしい不義を犯す者があろうか。」

وَإِذِ ٱعْتَزَلْتُمُوهُمْ وَمَا يَعْبُدُونَ إِلَّا ٱللَّهَ فَأْوُۥٓا۟ إِلَى ٱلْكَهْفِ يَنشُرْ لَكُمْ رَبُّكُم
مِّن رَّحْمَتِهِۦ وَيُهَيِّئْ لَكُم مِّنْ أَمْرِكُم مِّرْفَقًا ﴿١٦﴾

「そうだ、あなたがたがかれらから、またアッラー以外にかれらが崇拝する者からそれて、 洞窟に逃れれば、主はあなたがたの上に慈悲を現わされ、あなたがたのために、事態を安穏に処理なされよう。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/18:13-16

イマーム・イブン・カスィールは、彼らが**若者**（フィトヤ）であったと説明する。若い人々は、偽りの宗教に沈み込み根を張ってしまった年配の人々よりも、真理をすばやく受け入れ、その道もまっすぐである。だからこそイスラームの初期にアッラーとその使徒の呼びかけに応えた者の多くは若者であった。タフスィール・イブン・カスィール 18:13

アッラーが彼らに与えられた三つの賜物に注目してほしい。

(1) ワ・ズィドナーフム・フダー — アッラーは彼らの導きを増された、

(2) ワ・ラバトナー・アラー・クルービヒム — 彼らが立ち上がってタウヒードを宣言したとき、アッラーは彼らの心を強められた、そして

(3) ヤンシュル・ラクム・ラッブクム・ミン・ラフマティヒ — 彼らが虚偽から身を引いたとき、アッラーはその慈悲を注がれた。

シャイフ・サアディーは、ラバトナー・アラー・クルービヒムとは、アッラーが彼らの心を忍耐強く落ち着いたものとし、社会や王を恐れないようにされたことだと説明している。これはすべての「異邦人」へのアッラーの約束である。真理へと一歩を踏み出す者には、アッラーが導きを増し、その心を強めてくださる。タフスィール・サアディー 18:14

©2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

2. 誤りはどのように当たり前になるのか

ある朝突然目を覚まして、悪は善であると決める社会などない。その過程は**少しずつ**進んでいく。アッラーの使徒 ﷺ は、この過程をとても繊細なたとえで描写された。むしろを編むように、一本また一本と。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 144A 番

وَحَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ نُمَيْرٍ، حَدَّثَنَا أَبُو خَالِدٍ، - يَعْنِي سُلَيْمَانَ بْنَ حَيَّانَ - عَنْ سَعْدِ بْنِ طَارِقٍ، عَنْ رِبْعِيٍّ، عَنْ حُذَيْفَةَ، قَالَ كُنَّا عِنْدَ عُمَرَ فَقَالَ أَيُّكُمْ سَمِعَ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَذْكُرُ الْفِتَنَ فَقَالَ قَوْمٌ نَحْنُ سَمِعْنَاهُ . فَقَالَ لَعَلَّكُمْ تَعْنُونَ فِتْنَةَ الرَّجُلِ فِي أَهْلِهِ وَجَارِهِ قَالُوا أَجَلْ . قَالَ تِلْكَ تُكَفِّرُهَا الصَّلاَةُ وَالصِّيَامُ وَالصَّدَقَةُ وَلَكِنْ أَيُّكُمْ سَمِعَ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَذْكُرُ الْفِتَنَ الَّتِي تَمُوجُ مَوْجَ الْبَحْرِ قَالَ حُذَيْفَةُ فَأَسْكَتَ الْقَوْمُ فَقُلْتُ أَنَا . قَالَ أَنْتَ لِلَّهِ أَبُوكَ . قَالَ حُذَيْفَةُ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " تُعْرَضُ الْفِتَنُ عَلَى الْقُلُوبِ كَالْحَصِيرِ عُودًا عُودًا فَأَىُّ قَلْبٍ أُشْرِبَهَا نُكِتَ فِيهِ نُكْتَةٌ سَوْدَاءُ وَأَىُّ قَلْبٍ أَنْكَرَهَا نُكِتَ فِيهِ نُكْتَةٌ بَيْضَاءُ حَتَّى تَصِيرَ عَلَى قَلْبَيْنِ عَلَى أَبْيَضَ مِثْلِ الصَّفَا فَلاَ تَضُرُّهُ فِتْنَةٌ مَا دَامَتِ السَّمَوَاتُ وَالأَرْضُ وَالآخَرُ أَسْوَدُ مُرْبَادًّا كَالْكُوزِ مُجَخِّيًا لاَ يَعْرِفُ مَعْرُوفًا وَلاَ يُنْكِرُ مُنْكَرًا إِلاَّ مَا أُشْرِبَ مِنْ هَوَاهُ " . قَالَ حُذَيْفَةُ وَحَدَّثْتُهُ أَنَّ بَيْنَكَ وَبَيْنَهَا بَابًا مُغْلَقًا يُوشِكُ أَنْ يُكْسَرَ . قَالَ عُمَرُ أَكَسْرًا لاَ أَبَا لَكَ فَلَوْ أَنَّهُ فُتِحَ لَعَلَّهُ كَانَ يُعَادُ . قُلْتُ لاَ بَلْ يُكْسَرُ . وَحَدَّثْتُهُ أَنَّ ذَلِكَ الْبَابَ رَجُلٌ يُقْتَلُ أَوْ يَمُوتُ . حَدِيثًا لَيْسَ بِالأَغَالِيطِ . قَالَ أَبُو خَالِدٍ فَقُلْتُ لِسَعْدٍ يَا أَبَا مَالِكٍ مَا أَسْوَدُ مُرْبَادًّا قَالَ شِدَّةُ الْبَيَاضِ فِي سَوَادٍ . قَالَ قُلْتُ فَمَا الْكُوزُ مُجَخِّيًا قَالَ مَنْكُوسًا .

日本語訳：

フザイファ رضي الله عنه は言った。私たちがウマルのもとにいたとき、彼は尋ねた。「あなたがたのうち、アッラーの使徒 ﷺ が試練（フィタン）について語られるのを聞いた者は誰か。」何人かが答えた。「私たちは聞きました。」ウマルは言った。「おそらくあなたがたが言うのは、家族や隣人に関する人の試練のことであろう。」彼らは「は

い」と答えた。ウマルは言った。「その試練は礼拝と斎戒と施しによって償われる。しかしあなたがたのうち、海の波のように押し寄せる試練について預言者 ﷺ が語られるのを聞いた者は誰か。」フザイファは言った。人々は黙ってしまったので、私は「私です」と言った。ウマルは言った。「あなたか。なんと立派なことよ。」

フザイファは言った。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。「試練は、むしろが一本一本編まれるように、心に差し出される。それを吸い込んだ心には黒い点が付けられ、それを拒んだ心には白い点が付けられる。こうして心は二種類になる。（一つは）滑らかな石のように白い心で、天地が続く限りどんな試練もそれを害することはない。（もう一つは）灰色がかった黒い心で、ひっくり返った器のようである。自分の欲望から吸い込んだもの以外、善を善と知らず、悪を悪として拒まない。」

フザイファは言った。私はまたウマルに、彼と試練との間には閉ざされた扉があり、それがまもなく壊されるだろうと告げた。ウマルは言った。「壊されるだと？ なんということだ。もし開かれるのなら、また閉じることもできたかもしれないのに。」私は言った。「いいえ、それは壊されるのです。」そして私は、その扉とは殺されるか死ぬかする一人の男であると彼に告げた。これはハディースであり、作り話ではない。アブー・ハーリドは言った。私はサアドに尋ねた。「アブー・マーリクよ、アスワド・ムルバーッダとは何か。」彼は言った。「黒の中の濃い白さである。」私は尋ねた。「アル＝クーズ・ムジャッヒヤンとは何か。」彼は言った。「ひっくり返ったものである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ムハンマド・イブン・アブドゥッラー・イブン・ヌマイル ← アブー・ハーリド・スライマーン・イブン・ハイヤーン ← サアド・イブン・ターリク（アブー・マーリク・アシュジャイー） ← リブイー・イブン・ヒラーシュ ← フザイファ・イブン・ヤマーン رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』信仰の書（キターブ・ル＝イーマーン）、イスラームは異邦のものとして始まり、再び異邦のものとなるの章、ハディース第 144a 番。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:144a

学者たちの解説

イマーム・ナワウィーは、カル＝ハスィール・ウーダン・ウーダンとは、むしろの編み目がその上で眠る人の体に跡を残すように、試練が次々と心に付着することだと説明する。試練を吸い込む、つまりそれを受け入れ好む心には黒い点が付けられる。その点が増え続けると、心はついに**ひっくり返った器**のようになり、もはや善をためておくことができなくなる。**カーディー・イヤード**は、心がひっくり返った器にたとえられたのは、器が逆さまになると、注がれた水がこぼれて何も残らないからだと述べている。

このハディースの結びに注目してほしい。ひっくり返った心は「**自分の欲望から吸い込んだもの以外、善を善と知らず、悪を悪として拒まない。**」これこそ本書の題名を最も的確に表す姿である。その心はただ誤りを犯すだけではない。正しいことと誤りとを見分ける**秤を失ってしまった**のである。その唯一の尺度は欲望である。

科学的知見：不正直に「慣れて」しまう脳

学術誌『ネイチャー・ニューロサイエンス』に発表された、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンの**ギャレット、ラッザーロ、アリエリー、シャーロット（2016 年）**の研究は、参加者に自分の利益のために繰り返し嘘をつく機会を与え、その間の脳の活動を fMRI で測定した。その結果、**嘘の程度は繰り返すごとに少しずつ大きくなった。**同時に、感情や不快感に関わる脳の部位である**扁桃体**の、嘘をつく行為に対する反応は**次第に弱まっていった。**さらに重要なことに、ある判断で扁桃体の感度が大きく下がるほど、次の判断での嘘は大きくなった。研究者たちはこれを「滑りやすい坂」の生物学的な仕組みと呼んだ。繰り返される小さな違反が、より大きな違反へとつながるのである。この知見は、試練がウーダン・ウーダン、すなわち一本一本心に差し出され、ついに心が悪を拒まなくなるという預言者 ﷺ の描写と調和している。

研究文献：

Garrett, N., Lazzaro, S. C., Ariely, D., & Sharot, T. (2016). The brain adapts to dishonesty. Nature Neuroscience, 19(12), 1727–1732. https://doi.org/10.1038/nn.4426

恥じらいの喪失

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3483 番

حَدَّثَنَا أَحْمَدُ بْنُ يُونُسَ، عَنْ زُهَيْرٍ، حَدَّثَنَا مَنْصُورٌ، عَنْ رِبْعِيِّ بْنِ حِرَاشٍ، حَدَّثَنَا أَبُو مَسْعُودٍ، عُقْبَةُ قَالَ قَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم " إِنَّ مِمَّا أَدْرَكَ النَّاسُ مِنْ كَلاَمِ النُّبُوَّةِ، إِذَا لَمْ تَسْتَحِي فَافْعَلْ مَا شِئْتَ ".

日本語訳：

アブー・マスウード・ウクバ・イブン・アムル رضى الله عنه は言った。預言者 ﷺ は言われた。「人々に伝わった（以前の）預言の言葉の中にこういうものがある。恥じらいがないのなら、好きなことをするがよい。」

伝承経路：イマーム・ブハーリーの伝承：アフマド・イブン・ユーヌス ← ズハイル・イブン・ムアーウィヤ ← マンスール・イブン・ムウタミル ← リブイー・イブン・ヒラーシュ ← アブー・マスウード・ウクバ・イブン・アムル・アンサーリー رضى الله عنه。

出典：イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者たちの伝承の書（キターブ・アハーディース・ル＝アンビヤーゥ）、ハディース第 3483 番。ブハーリー第 6120 番（礼儀の書）にもある。

判定：サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:3483

恥じらい（アル＝ハヤーゥ）は、人が公然と悪を行うのを押しとどめる最後の防壁である。**イマーム・ナワウィー**はこのハディースを『四十のハディース（アル＝アルバイーン・アン＝ナワウィーヤ）』（第 20 ハディース）に収めた。**イマーム・ハッタービー**や**イブン・ハジャル**をはじめとする学者たちは、「好きなことをするがよい」という言葉に二つの主な意味を挙げている。**第一に**、それは**警告**である。恥じらいを失ったのなら好きなことをするがよい、そのすべてについて報いを受けるのだから。**第二に**、それは**指針**である。ある行いがアッラーと人々の前で恥ずべきものでないなら、それを行いなさい。社会から恥じらいが消えると、悪はもはや隠れて行われず、見せびらかされ、誇られさえする。

自分は善いことをしていると思い込むこと

洞窟章 18:103–104

قُلْ هَلْ نُنَبِّئُكُم بِٱلْأَخْسَرِينَ أَعْمَٰلًا ﴿١٠٣﴾

言ってやるがいい。「誰が行いにおいて最大の失敗者であるか、告げようか。

ٱلَّذِينَ ضَلَّ سَعْيُهُمْ فِى ٱلْحَيَوٰةِ ٱلدُّنْيَا وَهُمْ يَحْسَبُونَ أَنَّهُمْ يُحْسِنُونَ صُنْعًا ﴿١٠٤﴾

つまり自分では善いことをしていると、かれらは考えているが、現世の生活においての努力が、凡て間違った道に行ってしまうような者たちである。

日本語訳：三田了一 — quran.com/18:103-104

これこそ最も恐ろしい損失である。自分は正しい側にいると**確信**しながら誤りを犯すことである。『サヒーフ・ブハーリー』では、**ムスアブ・イブン・サアド**が父**サアド・イブン・アビー・ワッカース** رضى الله عنه に、この節が誰を指すのかを尋ね、父はユダヤ教徒とキリスト教徒であると答えた。『サヒーフ・ブハーリー』4728 **イマーム・イブン・カスィール**は、この節は**一般的**であると強調する。アッラーの喜ばれない方法でアッラーを崇拝しながら、自分は正しく、その行いは受け入れられていると思い込んでいるすべての人を含む。実際には誤っており、その行いは退けられているのである。タフスィール・イブン・カスィール 18:103

多数派は真理の秤ではない

家畜章 6:116

وَإِن تُطِعْ أَكْثَرَ مَن فِى ٱلْأَرْضِ يُضِلُّوكَ عَن سَبِيلِ ٱللَّهِ ۚ إِن يَتَّبِعُونَ إِلَّا ٱلظَّنَّ وَإِنْ هُمْ إِلَّا يَخْرُصُونَ ﴿١١٦﴾

あなたがもし地上の多くの者に従うならば、かれらはアッラーの道からあなたを迷わすであろう。かれらは只臆測に任せて、虚言をこととするに過ぎない。

日本語訳：三田了一 — quran.com/6:116

食卓章 5:100

قُل لَّا يَسْتَوِي ٱلْخَبِيثُ وَٱلطَّيِّبُ وَلَوْ أَعْجَبَكَ كَثْرَةُ ٱلْخَبِيثِ ۚ فَٱتَّقُوا۟ ٱللَّهَ يَٰٓأُو۟لِى ٱلْأَلْبَٰبِ لَعَلَّكُمْ تُفْلِحُونَ ﴿١٠٠﴾

言え、「あなたがたは、たとえはびこっている悪に魅了されようが、悪いことと良いことは同じではない」だからあなたがた思慮ある者よ、アッラーを畏れなさい。恐らくあなたがたは成功するであろう。

日本語訳：三田了一 — quran.com/5:100

誤りが当たり前になる最も強い理由の一つは、「**みんながそうしている**」ということである。クルアーンはこの尺度をきっぱりと退ける。**イマーム・イブン・カスィール**は、アッラーが地上の人々の大多数の状態、すなわち彼らが迷いの中にあり、確信ではなく偽りの推測にのみ従っていることを告げておられると説明する。**シャイフ・サアディー**は食卓章 5:100 を説明して言う。悪いものと良いものは、たとえ悪いものが多く心を引きつけても、同じではない。悪いものが多いからといってそれが良いものになるわけではなく、良いものが少ないからといってそれが悪いものになるわけでもない。タフスィール・サアディー 5:100

科学的知見：なぜ私たちは多数派に従いやすいのか

神経科学の研究は、集団に合わせようとする圧力が単なる「選択」の問題ではなく、脳に直接影響を与えることを示している。**バーンズら（2005 年）**は、参加者が集団の**誤った**答えに従うとき、**知覚**に関わる脳のネットワークの活動が変化することを見いだした。まるで社会的な圧力が、彼らの世界の「見え方」を変えたかのようである。反対に、集団に逆らって一人で立つとき、**扁桃体**の活動が高まり、「異邦人」となることの感情的な重荷を示した。**クルチャレフら（2009 年）**は、集団の意見と食い違うと、脳に「エラー」信号、つまり私たちが間違えたときと同じような信号が生じ、人は集団と同じになるよう意見を変えるよう促されることを見いだした。これらの知見は、なぜクルアーンが多数派を真理の秤としないよう繰り返し警告するのか（家畜章 6:116）、そして

なぜアッラーの使徒 ﷺ が試練の時代に宗教を守る者の忍耐を**燃えさかる炭火を握ること**にたとえられたのかを理解する助けとなる。

研究文献：

Berns, G. S., Chappelow, J., Zink, C. F., Pagnoni, G., Martin-Skurski, M. E., & Richards, J. (2005). Neurobiological correlates of social conformity and independence during mental rotation. Biological Psychiatry, 58(3), 245–253. https://doi.org/10.1016/j.biopsych.2005.04.012

Klucharev, V., Hytönen, K., Rijpkema, M., Smidts, A., & Fernández, G. (2009). Reinforcement learning signal predicts social conformity. Neuron, 61(1), 140–151. https://doi.org/10.1016/j.neuron.2008.11.027

3. 逆さまの時代 — 嘘つきが信じられ、正直な者が嘘つきとされる

心の秤が個人の中でひっくり返ると、遅かれ早かれ集団としてもひっくり返る。アッラーの使徒 ﷺ は、価値の位置が完全に入れ替わってしまう時代を描写された。

ハディース — 『スナン・イブン・マージャ』第 4036 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، حَدَّثَنَا يَزِيدُ بْنُ هَارُونَ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْمَلِكِ بْنُ قُدَامَةَ الْجُمَحِيُّ، عَنْ إِسْحَاقَ بْنِ أَبِي الْفُرَاتِ، عَنِ الْمَقْبُرِيِّ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ ـ صلى الله عليه وسلم ـ " سَيَأْتِي عَلَى النَّاسِ سَنَوَاتٌ خَدَّاعَاتٌ يُصَدَّقُ فِيهَا الْكَاذِبُ وَيُكَذَّبُ فِيهَا الصَّادِقُ وَيُؤْتَمَنُ فِيهَا الْخَائِنُ وَيُخَوَّنُ فِيهَا الأَمِينُ وَيَنْطِقُ فِيهَا الرُّوَيْبِضَةُ قِيلَ وَمَا الرُّوَيْبِضَةُ قَالَ الرَّجُلُ التَّافِهُ فِي أَمْرِ الْعَامَّةِ " .

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人々に欺瞞に満ちた年々が訪れる。そのとき嘘つきは信じられ、正直な者は嘘つきとされる。裏切り者は信頼され、信頼できる者は裏切り者とされる。そしてルワイビダが語るようになる。」「ルワイビダとは誰ですか」と尋ねられると、彼は言われた。「公の事柄について語る、取るに足らない（知識も資格もない）者である。」

伝承経路： イマーム・イブン・マージャの伝承：アブー・バクル・イブン・アビー・シャイバ ← ヤズィード・イブン・ハールーン ← アブドゥルマリク・イブン・クダーマ・ジュマヒー ← イスハーク・イブン・アビー・フラート ← サイード・マクブリー ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・イブン・マージャ『スナン・イブン・マージャ』試練の書（キターブ・ル＝フィタン）、時代の厳しさの章、ハディース第 4036 番。

判定： ダール・ッ＝サラームによればハサン（sunnah.com に表示）、シャイフ・アルバーニーによればサヒーフ（『サヒーフ・イブン・マージャ』）。正直な注記：この伝承経路には議論のあるアブドゥルマリク・イブン・クダーマが含まれるが、このハディースは『ムスナド・アフマド』の別の伝承経路によって強められている。

ソース：https://sunnah.com/ibnmajah:4036

このハディースは四つの逆転を挙げている。**嘘つきが信じられ、正直な者が嘘つきとされ、裏切り者が信頼され、信頼できる者が裏切り者とされる**。そしてその頂点として、ルワイビダが公の事柄について語る。**イブン・アスィール**は『アン＝ニハーヤ』の中で、ルワイビダとはラービダの縮小形で、高貴な行いをせずに座り込んでいる弱く取るに足らない者のことであり、強調のためにターの文字が加えられていると説明する。アッラーの使徒 ﷺ ご自身はそれを「**公の事柄について語る愚かな者**」と説明された。SNSの時代には、誰もが何についても何百万人に向けて語ることができる。そして最も大きな声が、最も知識のある声であるとは限らない。

ダッジャール—逆転の頂点

逆転のあらゆる試練の頂点は**ダッジャール**である。アッラーの使徒 ﷺ は、本書のテーマ全体を包み込む一つの特徴によって彼を描写された。

ハディース—『サヒーフ・ムスリム』第 2934A 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ نُمَيْرٍ، وَمُحَمَّدُ بْنُ الْعَلاَءِ، وَإِسْحَاقُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، قَالَ إِسْحَاقُ أَخْبَرَنَا وَقَالَ الآخَرَانِ، حَدَّثَنَا أَبُو مُعَاوِيَةَ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ شَقِيقٍ، عَنْ حُذَيْفَةَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " الدَّجَّالُ أَعْوَرُ الْعَيْنِ الْيُسْرَى جُفَالُ الشَّعَرِ مَعَهُ جَنَّةٌ وَنَارٌ فَنَارُهُ جَنَّةٌ وَجَنَّتُهُ نَارٌ " .

日本語訳：

フザイファ رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「ダッジャールは左目が見えず、髪が濃い。彼とともに楽園と火獄がある。だが彼の火獄は楽園であり、彼の楽園は火獄である。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ムハンマド・イブン・アブドゥッラー・イブン・ヌマイル、ムハンマド・イブン・アラーゥ と イスハーク・イブン・イブラーヒーム（イブン・ラーハワイフ）← アブー・ムアーウィヤ ← アアマシュ ← シャキーク・イブン・サラマ（アブー・ワーイル）← フザイファ・イブン・ヤマーン رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』試練と終末の兆しの書（キターブ・ル＝フィタン・ワ・アシュラート・ッ＝サーア）、ダッジャールの描写の章、ハディース第 2934a 番。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2934a

「彼の火獄は楽園であり、彼の楽園は火獄である。」**イマーム・ナワウィー**は、これはアッラーがダッジャールに置かれた試練の一つであると説明する。人々の目に楽園と見えるものは実は火獄であり、火獄と見えるものは実は楽園である。その「楽園」に惹かれて彼に従う者は火獄に入り、たとえその「火獄」に投げ込まれても彼を拒む者は救われる。これは**正しいことが奇妙になり、誤りが当たり前になる**という試練の最も大きな形である。外見が真実と完全に正反対になるのである。

学者たちは、大いなるダッジャールが現れる前に、人々を惑わす嘘つきや欺く者たち、すなわち多くの「小さなダッジャール」が現れると説明する。虚偽が美しく包まれ、真理が醜く描かれるのを見るたびに、私たちはダッジャールの試練の小さな影を目撃しているのである。だからアッラーの使徒 ﷺ が大いなるダッジャールに向き合うために教えられた備えは、より小さな試練に向き合うための備えにもなるのである。

奇妙に見える正しさ — ムーサーとヒドルの物語の教訓

洞窟章はもう一つの側面も教えている。**私たちの知識が限られているために、奇妙に見える正しいこともある。**預言者ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ は、ヒドルの三つの行い、すなわち舟に穴を開けたこと、少年を殺したこと、報酬なしに壁を建て直したことに異を唱えた。外見上は誤りに見えたからである。その後ヒドルはその英知を説明し、次の言葉で説明を締めくくった。

洞窟章 18:82

وَأَمَّا ٱلْجِدَارُ فَكَانَ لِغُلَٰمَيْنِ يَتِيمَيْنِ فِى ٱلْمَدِينَةِ وَكَانَ تَحْتَهُۥ كَنزٌ لَّهُمَا وَكَانَ أَبُوهُمَا صَٰلِحًا فَأَرَادَ رَبُّكَ أَن يَبْلُغَآ أَشُدَّهُمَا وَيَسْتَخْرِجَا كَنزَهُمَا رَحْمَةً مِّن رَّبِّكَ ۚ وَمَا فَعَلْتُهُۥ عَنْ أَمْرِى ۚ ذَٰلِكَ تَأْوِيلُ مَا لَمْ تَسْطِع عَّلَيْهِ صَبْرًا ﴿٨٢﴾

あの壁は町の 2 人の幼ない孤児のもので、その下には、かれらに帰属する財宝が埋めてあり、父親は正しい人物であった。それで主は、かれらが成年に達してから、その財宝をかれら両人のために掘り出すことを望まれた。（これは）主からの御恵みである。わたしが勝手に行ったことではなかったのだ。これがあなたの耐えられなかったことの説明である。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/18:82

ワ・マー・ファアルトゥフ・アン・アムリー —「わたしは自分の考えでそれをしたのではない。」**イマーム・イブン・カスィール**は、ヒドルがそのすべてをアッラーの命令によって行ったと説明する。教訓は明らかである。**正しいことと誤りの秤はアッラーの啓示である。**見た目でも、感情でも、多数派でもない。人々の目に奇妙に見えることがアッラーの御許では正しいこともあり、当たり前に見えることがアッラーの御許では誤りであることもある。だからこそ信者は、物事を判断するとき、いまの流行ではなく、常にクルアーンとスンナに立ち返るのである。タフスィール・イブン・カスィール 18:82

4. 真理の上に堅く立つ — 洞窟章という備え

正しいことがどのように奇妙になり、誤りがどのように当たり前になるのかを理解したうえで、最後の問いはこうである。**私たちはどうすれば堅く立ち続けられるのか。**アッラーの使徒 ﷺ は、とても明確な備えを与えてくださった。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 809A 番

وَحَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ الْمُثَنَّى، حَدَّثَنَا مُعَاذُ بْنُ هِشَامٍ، حَدَّثَنِي أَبِي، عَنْ قَتَادَةَ، عَنْ سَالِمٍ، بْنِ أَبِي الْجَعْدِ الْغَطَفَانِيِّ عَنْ مَعْدَانَ بْنِ أَبِي طَلْحَةَ الْيَعْمَرِيِّ، عَنْ أَبِي الدَّرْدَاءِ، أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " مَنْ حَفِظَ عَشْرَ آيَاتٍ مِنْ أَوَّلِ سُورَةِ الْكَهْفِ عُصِمَ مِنَ الدَّجَّالِ "

日本語訳：

アブー・ッ＝ダルダーゥ رضى الله عنه によると、預言者 ﷺ は言われた。「洞窟章の始めから十節を暗記する者は、ダッジャール（の試練）から守られる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ムハンマド・イブン・ムサンナー ← ムアーズ・イブン・ヒシャーム ← その父 ヒシャーム・ダストゥワーイー ← カターダ ← サーリム・イブン・アビー・ジャアド・ガタファーニー ← マアダーン・イブン・アビー・タルハ・ヤアマリー ← アブー・ッ＝ダルダーゥ رضى الله عنه。

続く伝承（ムスリム第 809b 番）では、シュウバはカターダから「洞窟章の終わりから」という言葉で伝え、ハンマームは上のヒシャームの伝承と同じく「洞窟章の始めから」と伝えている。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』旅人の礼拝とその短縮の書、洞窟章と玉座の節の徳の章、ハディース第 809a 番。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:809a

学者たちの解説

イマーム・ナワウィーは『サヒーフ・ムスリム』の注釈の中で、この守護の理由を説明している。洞窟章の始めには驚くべき事柄とアッラーの御力のしるしがあり、それを深く考える者はダッジャールの試練に欺かれないからだと言われている。同

様に章の終わりには、アッラーの次の御言葉がある。「信仰しない者たちは、わたしを差し置いて、わたしのしもべたちを守護者にできると考えるのか。」（洞窟章 18:102）

洞窟章の最初の十節には、逆転の試練から身を守る盾となる基礎が含まれている。

(1) 少しの歪みもないまっすぐな啓典を下されたアッラーへの称賛（1〜2 節）— 時代が変わっても変わらない秤、

(2) アッラーに子があると主張する者たちへの警告（4〜5 節）— ダッジャールの神性の主張のような、神の名による偽りを退けること、

(3) 現世の飾りは試練にすぎず、やがて不毛の地となる（7〜8 節）— だから偽りの「楽園」に欺かれてはならない、そして

(4) 洞窟の若者たちの祈り（10 節）— 宗教の事柄における慈悲と正しい導きを願うこと。

現代の学者の中には、洞窟章の四つの主な物語が四種類の大きな試練を表していると説明する者もいる。**信仰の試練**（洞窟の若者たち）、**財産の試練**（二つの園の持ち主）、**知識の試練**（ムーサーとヒドル）、そして**権力の試練**（ズル・カルナイン）である。これらはしばしば価値の逆転への扉となる試練であり、ダッジャールはそのすべてを携えてやって来る。

洞窟章の最初の十節（18:1〜10）— 暗記するために

ٱلْحَمْدُ لِلَّهِ ٱلَّذِىٓ أَنزَلَ عَلَىٰ عَبْدِهِ ٱلْكِتَٰبَ وَلَمْ يَجْعَل لَّهُۥ عِوَجَاۜ ﴿١﴾

アッラーを讃える。かれはそのしもべに啓典を下された。それには、少しの曲ったことも含まれない。

قَيِّمًا لِّيُنذِرَ بَأْسًا شَدِيدًا مِّن لَّدُنْهُ وَيُبَشِّرَ ٱلْمُؤْمِنِينَ ٱلَّذِينَ يَعْمَلُونَ ٱلصَّٰلِحَٰتِ أَنَّ لَهُمْ أَجْرًا حَسَنًا ﴿٢﴾

（この啓典の内容を）正しく真直になされ、かれの御許からの痛烈な処罰を警告され、また正しい行いをする信者は、善い報奨を得るとの吉報を伝えられた。

مَّٰكِثِينَ فِيهِ أَبَدًا ﴿٣﴾

かれらは永遠にその中に住むであろう。

وَيُنذِرَ ٱلَّذِينَ قَالُواْ ٱتَّخَذَ ٱللَّهُ وَلَدًا ﴿٤﴾

また、「アッラーは一人の御子を持たれます。」と言う者へ警告なされる。

مَّا لَهُم بِهِۦ مِنْ عِلْمٍ وَلَا لِأَبَآئِهِمْۚ كَبُرَتْ كَلِمَةً تَخْرُجُ مِنْ أَفْوَٰهِهِمْۚ إِن يَقُولُونَ إِلَّا كَذِبًا ﴿٥﴾

かれらはこのことに就いて何の知識もなく、かれらの祖先もまたそうであった。かれらの口をついて出る言葉は、由々しきものである。かれらの言葉は、偽りに外ならない。

فَلَعَلَّكَ بَٰخِعٌ نَّفْسَكَ عَلَىٰٓ ءَاثَٰرِهِمْ إِن لَّمْ يُؤْمِنُواْ بِهَٰذَا ٱلْحَدِيثِ أَسَفًا ﴿٦﴾

もしかれらがこの消息（クルアーン）を信じないならば、恐らくあなたはかれらの所行のために苦悩して、自分の身を滅ぼすであろう。

إِنَّا جَعَلْنَا مَا عَلَى ٱلْأَرْضِ زِينَةً لَّهَا لِنَبْلُوَهُمْ أَيُّهُمْ أَحْسَنُ عَمَلًا ﴿٧﴾

本当に地上の凡ての有は、それ（大地）の装飾としてわれが設けたもので、かれらの中誰が最も優れた行いをするかを、試みるためである。

وَإِنَّا لَجَٰعِلُونَ مَا عَلَيْهَا صَعِيدًا جُرُزًا ﴿٨﴾

本当にわれは、この（地）上にある凡ての有を、必ず（生命のない）乾いた土にするであろう。

أَمْ حَسِبْتَ أَنَّ أَصْحَٰبَ ٱلْكَهْفِ وَٱلرَّقِيمِ كَانُواْ مِنْ ءَايَٰتِنَا عَجَبًا ﴿٩﴾

洞窟の仲間たちとその碑文のことを、あなたは考えないのか。わが印の中でも驚嘆すべきものであったと。

إِذْ أَوَى ٱلْفِتْيَةُ إِلَى ٱلْكَهْفِ فَقَالُوا۟ رَبَّنَآ ءَاتِنَا مِن لَّدُنكَ رَحْمَةً وَهَيِّئْ لَنَا مِنْ أَمْرِنَا رَشَدًا ﴿١٠﴾

青年たちが洞窟の中に逃れた時を思え。かれらは（祈って）言った。「主よ、あなたの御許から慈悲を与えられ、わたしたちの事態に正しい道を御授け下さい。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/18:1-10

心を強めてくれる仲間を選ぶ

洞窟章 18:28

وَٱصْبِرْ نَفْسَكَ مَعَ ٱلَّذِينَ يَدْعُونَ رَبَّهُم بِٱلْغَدَوٰةِ وَٱلْعَشِىِّ يُرِيدُونَ وَجْهَهُۥ ۖ وَلَا تَعْدُ عَيْنَاكَ عَنْهُمْ تُرِيدُ زِينَةَ ٱلْحَيَوٰةِ ٱلدُّنْيَا ۖ وَلَا تُطِعْ مَنْ أَغْفَلْنَا قَلْبَهُۥ عَن ذِكْرِنَا وَٱتَّبَعَ هَوَىٰهُ وَكَانَ أَمْرُهُۥ فُرُطًا ﴿٢٨﴾

朝な夕な、主の慈顔を求めてかれに祈る者と共に、あなた自身を堅く守りなさい。また現世の生活の栄華を望んで、かれらからあなたの目をそらせてはならない。またわれが、その心にわれを念じることを忽せにさせた者、また私欲に従って、自分の事に、法を越えた者に付き従ってはならない。

日本語訳：三田了一 — quran.com/18:28

この節もまた洞窟章の中で啓示されたもので、アッラーの使徒 ﷺ に、朝夕主に祈る人々と、たとえ彼らが貧しく社会から顧みられなくても、**常に共にいる**よう命じるものである。**イマーム・イブン・カスィール**は、この節が、貧しくても豊かでも、強くても弱くても、アッラーを念じ、唯一性を唱え、称え、讃美し、偉大さを唱える人々と共に座るよう彼に命じていると説明する。またアッラーは、心が怠り、欲望に従い、その行いがフルタ、すなわち度を越して空しい者に従うことを禁じておられる。タフスィール・イブン・カスィール 18:28

科学的知見：真実を語る一人の仲間の力

ソロモン・アッシュ（1956 年）の古典的な実験は、参加者に線の長さを比べさせた。とても簡単な課題である。ところが他の「参加者」たち（実は研究者の協力者）が全員一致でわざと**誤った**答えを言うと、本当の参加者の多くが少なくとも一度は誤った答えに従った。最も興味深いのはこの実験の変形である。集団の中で**たった一人**でも正しい答えを言うと、誤った答えに従う割合は**大きく下がった**。真理を守る一人の仲間がいるだけで、人は多数派の圧力に抗う力を得たのである。この知見は、主に祈る人々と常に共にいよという洞窟章 18:28 の命令、そして**共に**タウヒードを宣言した洞窟の若者たちの物語と調和している。彼らは一人で立っていたのではなかった。

研究文献：

Asch, S. E. (1956). Studies of independence and conformity: I. A minority of one against a unanimous majority. Psychological Monographs: General and Applied, 70(9), 1–70. https://doi.org/10.1037/h0093718

心が悪を拒むのをやめないように

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 49A 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، حَدَّثَنَا وَكِيعٌ، عَنْ سُفْيَانَ، ح وَحَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ الْمُثَنَّى، حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ جَعْفَرٍ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، كِلاَهُمَا عَنْ قَيْسِ بْنِ مُسْلِمٍ، عَنْ طَارِقِ بْنِ شِهَابٍ، - وَهَذَا حَدِيثُ أَبِي بَكْرٍ - قَالَ أَوَّلُ مَنْ بَدَأَ بِالْخُطْبَةِ يَوْمَ الْعِيدِ قَبْلَ الصَّلاَةِ مَرْوَانُ فَقَامَ إِلَيْهِ رَجُلٌ فَقَالَ الصَّلاَةُ قَبْلَ الْخُطْبَةِ . فَقَالَ قَدْ تُرِكَ مَا هُنَالِكَ . فَقَالَ أَبُو سَعِيدٍ أَمَّا هَذَا فَقَدْ قَضَى مَا عَلَيْهِ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " مَنْ رَأَى مِنْكُمْ مُنْكَرًا فَلْيُغَيِّرْهُ بِيَدِهِ فَإِنْ لَمْ يَسْتَطِعْ فَبِلِسَانِهِ فَإِنْ لَمْ يَسْتَطِعْ فَبِقَلْبِهِ وَذَلِكَ أَضْعَفُ الإِيمَانِ " .

日本語訳：

ターリク・イブン・シハーブは言った（これはアブー・バクルの言葉による）。祭日に礼拝の前に説教を始めた最初の者はマルワーンであった。一人の男が彼に向かって立ち上がり、「礼拝は説教の前（にすべき）です」と言った。マルワーンは「それはもう捨てられた」と答えた。するとアブー・サイード（フドリー） رضى الله عنه は言った。「この男は自分の務めを果たした。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。

『あなたがたのうち悪を見た者は、それを手で改めなさい。それができなければ舌で。それもできなければ心で。それが信仰の最も弱いものである。』」

伝承経路： イマーム・ムスリムの二つの伝承経路：アブー・バクル・イブン・アビー・シャイバ ← ワキーウ・イブン・ジャッラーフ ← スフヤーン・サウリー。また ムハンマド・イブン・ムサンナー ← ムハンマド・イブン・ジャアファル（グンダル） ← シュウバ・イブン・ハッジャージュ ― 両者とも ← カイス・イブン・ムスリム ← ターリク・イブン・シハーブ ← アブー・サイード・フドリー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』信仰の書（キターブ・ル＝イーマーン）、悪を禁じることは信仰の一部であるの章、ハディース第 49a 番。

判定： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:49a

イマーム・ナワウィーは、心で悪を改めるとは、それを**憎むこと**であり、これはあらゆる状況においてすべての人に義務であって、誰もそれを免除されないと説明する。これこそ、フザイファのハディースにある「ひっくり返った器」のように心がなるのを防ぐ最後の防壁である。たとえ悪を改められなくても、心でなお悪を憎む者は、正しい秤をまだ持っている。しかし心がもはや悪を憎まなくなったとき、誤りは本当に当たり前になってしまったのである。**イブン・マスウード** رضى الله عنه は言った（**イブン・ラジャブ**が『ジャーミウ・ル＝ウルーム・ワ・ル＝ヒカム』で引用）。「善を知り悪を拒む心を持たない者は滅びる。」

ハディース ― 『スナン・アビー・ダーウード』第 4338 番

حَدَّثَنَا وَهْبُ بْنُ بَقِيَّةَ، عَنْ خَالِدٍ، ح وَحَدَّثَنَا عَمْرُو بْنُ عَوْنٍ، أَخْبَرَنَا هُشَيْمٌ، - الْمَعْنَى - عَنْ إِسْمَاعِيلَ، عَنْ قَيْسٍ، قَالَ قَالَ أَبُو بَكْرٍ بَعْدَ أَنْ حَمِدَ اللَّهَ، وَأَثْنَى، عَلَيْهِ يَا أَيُّهَا النَّاسُ إِنَّكُمْ تَقْرَءُونَ هَذِهِ الآيَةَ وَتَضَعُونَهَا عَلَى غَيْرِ مَوَاضِعِهَا { عَلَيْكُمْ أَنْفُسَكُمْ لاَ يَضُرُّكُمْ مَنْ ضَلَّ إِذَا اهْتَدَيْتُمْ } قَالَ عَنْ خَالِدٍ وَإِنَّا سَمِعْنَا النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " إِنَّ النَّاسَ إِذَا رَأَوُا الظَّالِمَ فَلَمْ يَأْخُذُوا عَلَى يَدَيْهِ أَوْشَكَ أَنْ يَعُمَّهُمُ اللَّهُ بِعِقَابٍ " . وَقَالَ عَمْرٌو عَنْ هُشَيْمٍ وَإِنِّي سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " مَا مِنْ قَوْمٍ يُعْمَلُ فِيهِمْ بِالْمَعَاصِي

ثُمَّ يَقْدِرُونَ عَلَى أَنْ يُغَيِّرُوا ثُمَّ لاَ يُغَيِّرُوا إِلاَّ يُوشِكُ أَنْ يَعُمَّهُمُ اللَّهُ مِنْهُ بِعِقَابٍ " . قَالَ أَبُو دَاوُدَ رَوَاهُ كَمَا قَالَ خَالِدٌ أَبُو أُسَامَةَ وَجَمَاعَةٌ . وَقَالَ شُعْبَةُ فِيهِ " مَا مِنْ قَوْمٍ يُعْمَلُ فِيهِمْ بِالْمَعَاصِي هُمْ أَكْثَرُ مِمَّنْ يَعْمَلُهُ " .

日本語訳：

カイス（・イブン・アビー・ハーズィム）は言った。アブー・バクル（・スィッディーク） رضى الله عنه は、アッラーを称え讃えた後に言った。「人々よ、あなたがたはこの節を読みながら、それを本来の場所でないところに置いている。『あなたがた自身を守りなさい。あなたがたが正しく導かれていれば、迷った者があなたがたを害することはない』（食卓章 5:105）。」ハーリドの伝承では、「私たちは預言者 ﷺ がこう言われるのを聞いた。『人々が不正を行う者を見て、その手を押さえなければ、アッラーはまもなく彼ら全員に罰を下されるであろう。』」

またフシャイムからのアムルの伝承では、「私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。『罪が行われている民が、それを改めることができるのに改めなければ、アッラーはまもなく御許からの罰を彼ら全員に下されるであろう。』」アブー・ダーウードは言った。アブー・ウサーマと一群の伝承者たちは、ハーリドが言ったように伝えている。そしてシュウバはその伝承の中で言った。「罪が行われている民が、それを行う者よりも数が多いのに…」

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの二つの伝承経路：ワフブ・イブン・バキーヤ ← ハーリド・イブン・アブドゥッラー・タッハーン。また アムル・イブン・アウン ← フシャイム・イブン・バシール ― 両者とも ← イスマーイール・イブン・アビー・ハーリド ← カイス・イブン・アビー・ハーズィム ← アブー・バクル・スィッディーク رضى الله عنه。

出典： イマーム・アブー・ダーウード『スナン・アビー・ダーウード』大戦の書（キターブ・ル＝マラーヒム）、善を勧め悪を禁じることの章、ハディース第 4338 番。ティルミズィーとイブン・マージャも伝えている。

判定： サヒーフ（真正）― シャイフ・アルバーニーによる判定（sunnah.com に表示）。

ソース：https://sunnah.com/abudawud:4338

アブー・バクル・スィッディーク رضى الله عنه は、食卓章 5:105 についての誤解を正した。ある人々は、この節は自分さえ善ければ黙っていてよいと許していると考えて

いた。アブー・バクルは、できるのに不正や罪を注意せずに放置することは、すべての人に降りかかる罰を招くと説明した。この節が当てはまるのは、人が自分の能力に応じて善を勧め悪を禁じる務めを果たした後だけである。「自分のことだけ気にしていればよい」という態度は、誤りが当たり前になる最大の理由の一つである。

簡単な比較

ひっくり返った心（ムスリム 144）	堅い心（洞窟の若者たち）
試練を一本一本吸い込む	試練を拒む — 白い点が付けられる（ムスリム 144）
善を知らず、悪を拒まない	少なくとも心で悪を憎む（ムスリム 49）
その秤は欲望	その秤は啓示 —「自分の考えでしたのではない」（18:82）
自分は善いことをしていると思い込む（18:104）	正しい導きを願う（18:10）
多数派に従う（6:116）	朝夕主に祈る人々と共にいる（18:28）
恥じらいを失う（ブハーリー3483）	追放されても清さを守る（7:82）
ダッジャールの「楽園」に欺かれる（ムスリム 2934）	洞窟章の十節によって守られる（ムスリム 809）

堅く立ち続けるための実践的な歩み

- **洞窟章の最初の十節を暗記し読誦する** — そしてその意味を深く考える（ムスリム 809）。
- **秤を啓示に戻す：** 何かを「当たり前」か「奇妙」かと判断する前に、クルアーンとスンナが何と言っているかを問う（18:82）。
- **多数派を根拠にしない：**「みんながしている」は証拠ではない（6:116、5:100）。
- **心が慣れてしまわないよう守る：** 小さな誤りを赦しを求めずに繰り返させない。心は一本一本慣れていくからである（ムスリム 144）。

- **恥じらいを保つ** — アッラーに対しても人に対しても（ブハーリー3483）。
- **正しい仲間と共同体を求める** — 朝夕主に祈る人々を（18:28）。
- **能力に応じて悪を注意する** — 手で、舌で、少なくとも心で憎むことによって（ムスリム 49、アブー・ダーウード 4338）。
- **洞窟の若者たちの祈りを唱える：** ラッバナー・アーティナー・ミン・ラドゥンカ・ラフマタン・ワ・ハイイィ・ラナー・ミン・アムリナー・ラシャダー（18:10）。
- **「異邦人」として忍耐する** — アル＝グラバーゥに祝福あれ（ムスリム 145、ティルミズィー2260）。

結び — 異邦人たちに祝福あれ

他の人々が誤っているときに正しくあることは、確かに疲れることである。私たちは奇妙な目で見られ、嘲られ、時には脇に追いやられるかもしれない。身を清く保とうとしたために追放された預言者ルート عَلَيْهِ السَّلَامُ のように、そして洞窟に身を寄せなければならなかった洞窟の若者たちのように。しかしアッラーの使徒 ﷺ は吉報を与えてくださった。**ファ・トゥーバー・リル＝グラバーゥ — 異邦人たちに祝福あれ。**

正しいことは、たとえ一人しかそれを行わなくても正しい。誤りは、たとえ世界中がそれを行っても誤りである。アッラーが洞窟の若者たちの心を強められたように私たちの心を強め、大小のダッジャールの試練から私たちを守ってくださいますように。**ラッバナー・アーティナー・ミン・ラドゥンカ・ラフマタン・ワ・ハイイィ・ラナー・ミン・アムリナー・ラシャダー。**

参考文献

クルアーンとタフスィール

『聖クルアーン』ウスマーン版本文、三田了一訳『日亜対訳 聖クルアーン』。https://quran.com

イブン・カスィール『タフスィール・クルアーン・アズィーム』。https://tafsir.app/ibn-katheer/18/1

クルトゥビー『アル＝ジャーミウ・リ・アフカーム・アル＝クルアーン』。https://tafsir.app/qurtubi/18/1

アブドゥッラフマーン・サアディー『タイスィール・アル＝カリーム・アッ＝ラフマーン』。https://tafsir.app/saadi/18/1

ハディース・注釈・典拠

『サヒーフ・ブハーリー』『サヒーフ・ムスリム』『スナン・アビー・ダーウード』『ジャーミウ・ティルミズィー』『スナン・イブン・マージャ』— 本文、伝承経路、伝承者。https://sunnah.com

『アル＝マウスーア・アル＝ハディースィーヤ』（判定の確認）。https://dorar.net/hadith

イブン・ハジャル・アスカラーニー『ファトフ・ル＝バーリー』、ナワウィー『ミンハージュ（サヒーフ・ムスリム注釈）』、『リヤード・アッ＝サーリヒーン』、『マジュムーウ』、ナワウィー『四十のハディース』、カーディー・イヤード『イクマール・アル＝ムウリム』、ハッタービー『マアーリム・アッ＝スナン』、ムバーラクフーリー『トゥフファト・ル＝アフワズィー』、イブン・ラジャブ・ハンバリー『カシュフ・ル＝クルバ』と『ジャーミウ・ル＝ウルーム・ワ・ル＝ヒカム』、イブン・アスィール『アン＝ニハーヤ』。

科学研究

Garrett, N., Lazzaro, S. C., Ariely, D., & Sharot, T. (2016). The brain adapts to dishonesty. Nature Neuroscience, 19(12), 1727–1732. https://doi.org/10.1038/nn.4426

Berns, G. S., Chappelow, J., Zink, C. F., Pagnoni, G., Martin-Skurski, M. E., & Richards, J. (2005). Neurobiological correlates of social conformity and independence during mental rotation. Biological Psychiatry, 58(3), 245–253. https://doi.org/10.1016/j.biopsych.2005.04.012

Klucharev, V., Hytönen, K., Rijpkema, M., Smidts, A., & Fernández, G. (2009). Reinforcement learning signal predicts social conformity. Neuron, 61(1), 140–151. https://doi.org/10.1016/j.neuron.2008.11.027

Asch, S. E. (1956). Studies of independence and conformity: I. A minority of one against a unanimous majority. Psychological Monographs: General and Applied, 70(9), 1–70. https://doi.org/10.1037/h0093718

支援と寄付

この電子書籍は、ムスリムのために**完全に無料で**発行されており、**決して販売されるものではありません。**研究、ウェブサイト quranscience.my の運営、今後の電子書籍の出版の費用のためのご寄付を心より歓迎いたします。ただし寄付は**義務ではありません。**アッラーがすべてのご寄付を、絶えることのない施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。「本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。アッラーは、赦す僕に尊厳しか増し加えられない。そして、アッラーのためにへりくだる者は誰であれ、アッラーがその位を高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ、クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・礼儀の書（キターブ・ル＝ビッル）、赦しと謙虚さの奨励の章、ハディース第 2588 番。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは途絶える。ただし三つを除いて。絶えることのない施し、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ、クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファ

ル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書（キターブ・ル＝ワスィーヤ）、死後に人に届く報いの章、ハディース第 1631 番。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:1631

JAZAKUMULLAHU KHAIRAN KATHIRA



上の QR コード（DuitNow、マレーシア）を読み取ってご寄付ください。

寄付する

海外からのご寄付：「寄付する」ボタンをクリックするか、次をご覧ください
paypal.me/quranscience